

工事説明書

リレーユニット

品番 **WU-SA105**

もくじ

はじめに

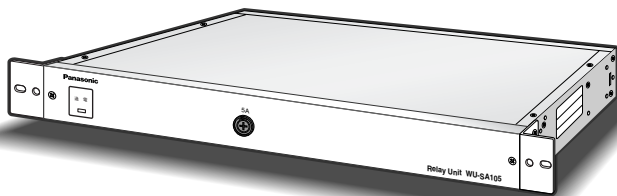
商品概要	2
付属品をご確認ください	2
安全上のご注意	3
取扱について	5
使用上のお願い	5
接続上のお願い	5
配線距離と線種、線径	5
各部のなまえ	6
前面パネル	6
後面パネル	6

接続

接続のしかた	7
音声調整卓（本体・端子台ユニット）との接続	7
各チャンネル10系統＋斉をリモコン放送する場合	8
リモコンマイク1台で各チャンネルに 放送する場合	10
リモコンマイク1台で各回線に 放送する場合	12

その他

仕様	14
保証とアフターサービス	15



保証書別添付

このたびは、リレーユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（3～4ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

商品概要

本機は、音声調整卓WL-SA100シリーズ専用の10局リレーユニットです。本機とリモコンマイク（5局、10局）を接続することにより、スピーカー回線を選択して放送先を決めることができます。

- 1局あたりのスピーカー容量は、最大360 Wです。電源・リレー内蔵のため、10局個々の制御および一斉制御をすることができます。
- 本機は3台まで増設でき、最大30局のスピーカー回線が制御できます。
- 本機は、音声調整卓本体と端子台ユニット（音声調整卓に付属）の間に接続します。スピーカー線は端子台ユニットへ接続し、リモコンマイクは本機に接続します。
- 電源はAC100 V 50 Hz/60 Hzです。音声調整卓が非常電源で起動した場合、本機は音声調整卓から電源供給（DC24 V）されます。
- 高さ1Uの省スペース設計です。

付属品をご確認ください



工事説明書（本書）	1
保証書	1
以下の付属品は取付工事に使用します。	
電源コード	1
制御ケーブル	1
音声ケーブル	1
ラックマウント用ねじ（バインドM5×12）	2

安全上のご注意



必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。







■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する  工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。 ●必ず販売店にご依頼ください。	異物を入れない  水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。 禁止 ●ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。	分解しない、改造しない  火災や感電の原因になります。 分解禁止 ●修理や点検は、販売店にご連絡ください。
異常があるときは、すぐ使用をやめる  煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。 ●ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。	取付ねじはしっかりしめる  落下によるけがの原因になります。 ●取り付けは、必ず販売店にご依頼ください。	決められたヒューズを使う  規定以外のヒューズを使うと、火災の原因になります。

警告

電源コード・電源プラグを破損するよう なことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、
無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、
重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、感電・ショーク・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

禁止

ぬれた手で、電源プラグ の抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

取扱について

⚠警告、⚠注意に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

使用上のお願い

- 本機はラックマウント専用です。
必ず音声調整卓または袖卓に組み込んでご使用ください。
- ヒューズの交換について
必ず電源コードを抜いてから行ってください。交換する場合は、指定容量のヒューズをお使いください。
- 電源について
電源コードは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。
(1) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）に容易に手が届く状態に設置する。
(2) 接点距離が3.0 mm以上有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。
- お手入れについて
電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。
ほこりがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で洗剤成分を完全にふき取ってください。
ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

接続上のお願い

- 本機には電源スイッチはありません。電源は、音声調整卓本体の連動コンセントなど、電源が入／切できるコンセントに差し込んでください。
- 本機後面のACアウトレットは、本機を複数台使用する場合に使用します。他の機器は接続しないでください。
- チャイム起動時のリモコンマイクからの放送など、一部制約事項があります。接続する機器の取扱説明書を合わせてよくお読みください。
- 必ず接続する機器の取扱説明書を合わせてよくお読みください。

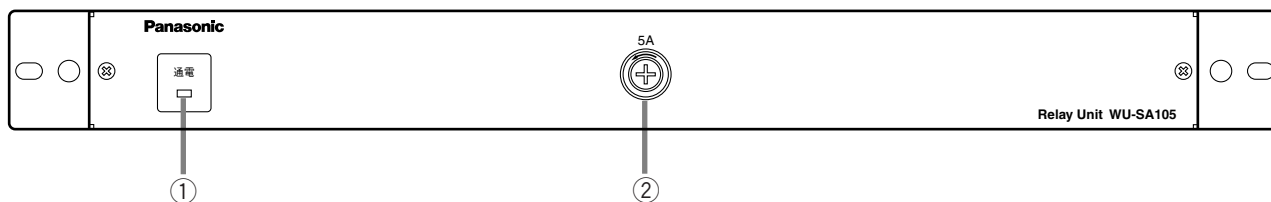
配線距離と線種、線径

- 下表以外の線材を使用する場合は、1線の線路抵抗が15 Ω以下のものを使用してください。
- 使用するリモコンマイクの取扱説明書を合わせてお読みください。

線材	距離	50 m以下	200 m以下	500 m以下
制御線		AWG24～22番線 または φ 0.5 mm～φ 1.0 mm以上	φ 0.8 mm～φ 1.2 mm	φ 1.2 mm

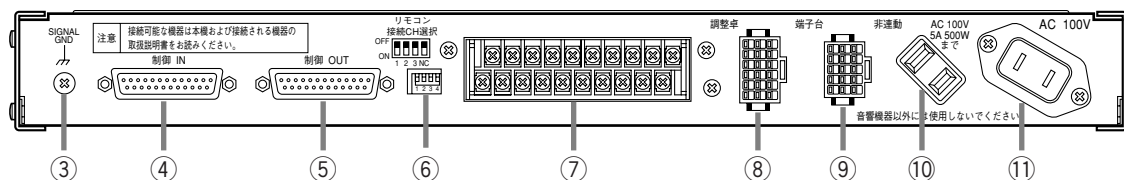
各部のなまえ

前面パネル



- ① **通電表示**
本機に電源が供給されると点灯します。
- ② **ACアウトレット用ヒューズ (5 A)**
本機後面のACアウトレットへの電源供給ヒューズです。
ACアウトレットに接続した機器の異常時に溶断します。溶断した場合は、ショートなどの原因を取り除いた後、同容量 (5 A) のヒューズと交換してください。

後面パネル

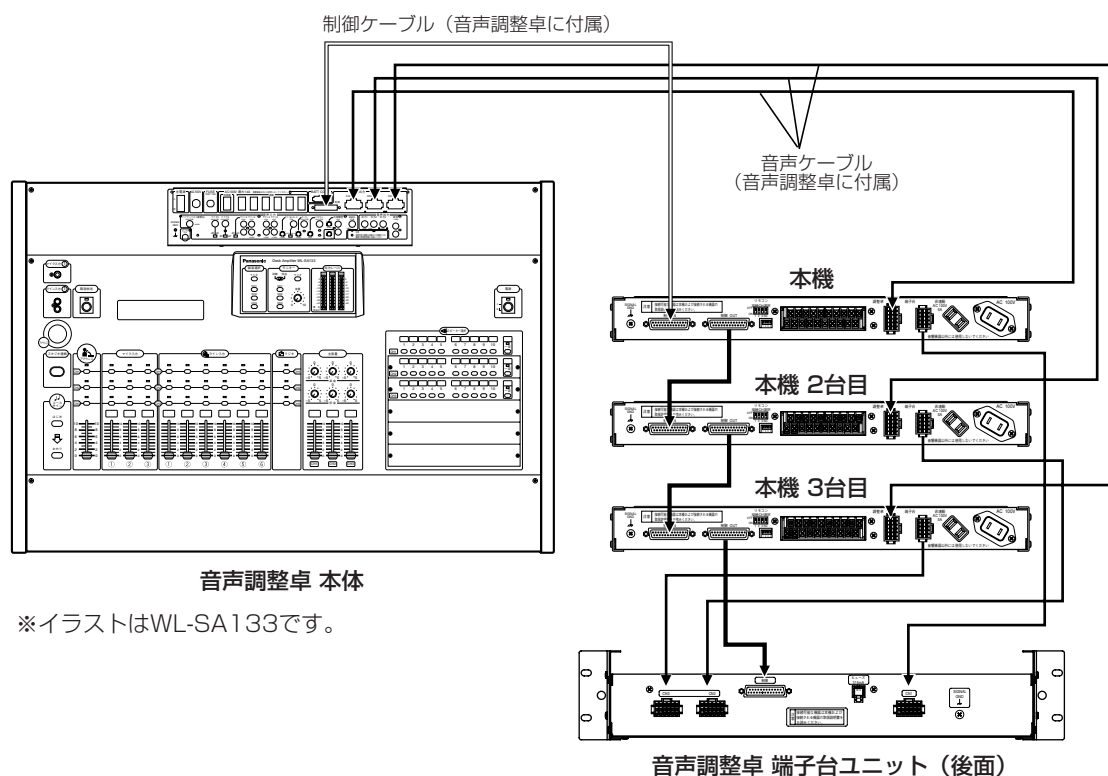


- ③ **アースねじ (SIGNAL GND)**
アース線を接続します。
- ④ **制御入力コネクタ (制御IN)**
制御入力用コネクタです。音声調整卓に付属のケーブルで音声調整卓本体と接続します。
- ⑤ **制御出力コネクタ (制御OUT)**
制御出力用コネクタです。付属ケーブルで端子台ユニットと接続します。
複数台使用時は、増設したリレーユニットの制御入力コネクタに接続します。
- ⑥ **アドレス設定スイッチ (リモコン接続CH選択)**
本機のアドレスを設定します (7ページ参照)。
- ⑦ **リモコン接続端子**
別売のリモコンマイクを接続します。
- ⑧ **調整卓接続端子**
音声調整卓に付属の音声ケーブルで音声調整卓と接続します。
- ⑨ **端子台ユニット接続端子**
本機に付属の音声ケーブルで端子台ユニット (音声調整卓に付属) と接続します。
- ⑩ **ACアウトレット (非連動)**
2台目、3台目のリレーユニットを接続します。
AC100 V 5 A 500 Wまでの電源を供給することができます。
- ⑪ **ACインレット**
電源コード (付属品) を接続します。

接続のしかた

音声調整卓（本体・端子台ユニット）との接続

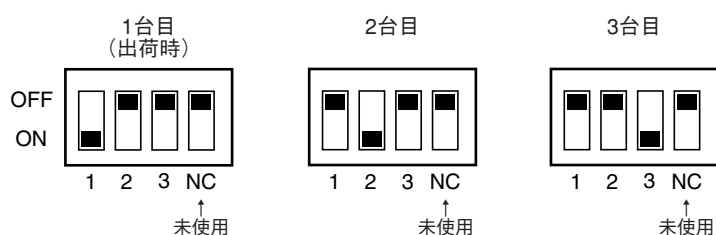
- スピーカー線、電力増幅ユニットの出力線は、音声調整卓付属の端子台ユニットに接続します。
- 下図は、音声調整卓 WL-SA133に本機を3台使用した場合の接続図です。



- 音声調整卓本体、端子台ユニット、本機間の音声ケーブル（角形コネクター間）の接続は下表のようにしてください。

音声調整卓 本体		本機	音声調整卓 端子台ユニット コネクター
放送系統	端子台出力コネクター		
CH1	CN1	1台目	CN1
CH2	CN2	2台目	CN2
CH3	CN3	3台目	CN3

- 本機の1台目、2台目、3台目は後面のアドレス設定スイッチで設定します。下図のように、目的のチャンネルに相当するスイッチを「ON」にします。



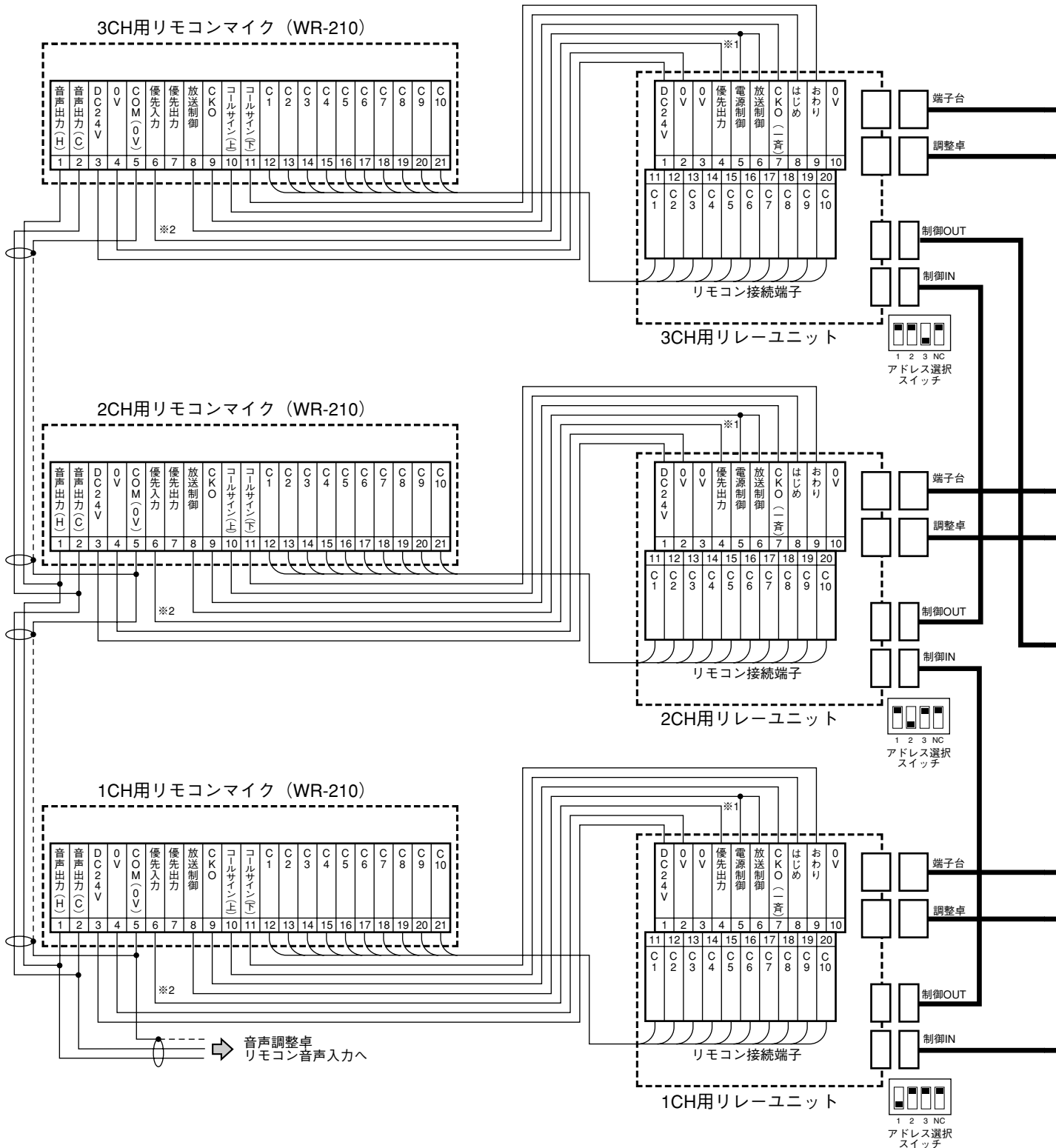
各チャンネル10系統＋一斉をリモコン放送する場合

音声調整卓 WL-SA133とリモコンマイク WR-210のシステム例です。

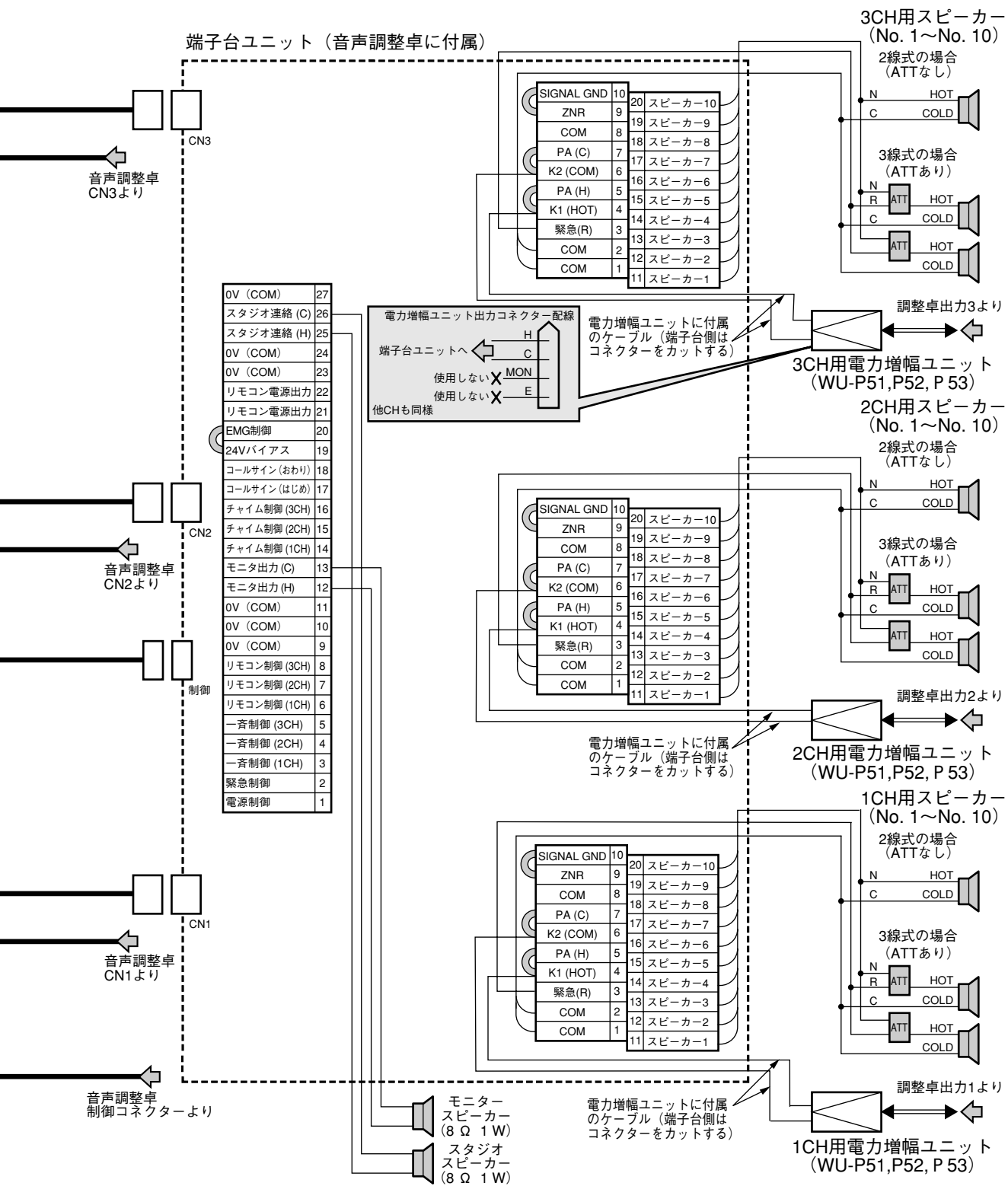
- WL-SA133の各チャンネル毎に本機とリモコンマイクが必要です。
- 音声調整卓に付属の端子台ユニットが必要です。

※1 電源制御の配線は、音声調整卓の電源が「切」または停電時（別途、音声調整卓側に非常電源ユニットWP-570Bが必要）にリモコンマイクから調整卓の電源を入れ、放送できるようにするために接続します。

※2 優先入力の配線は、緊急放送時にリモコン放送を停止させるために必要です。必ず接続してください。



接続



リモコンマイク1台で各チャンネルに放送する場合

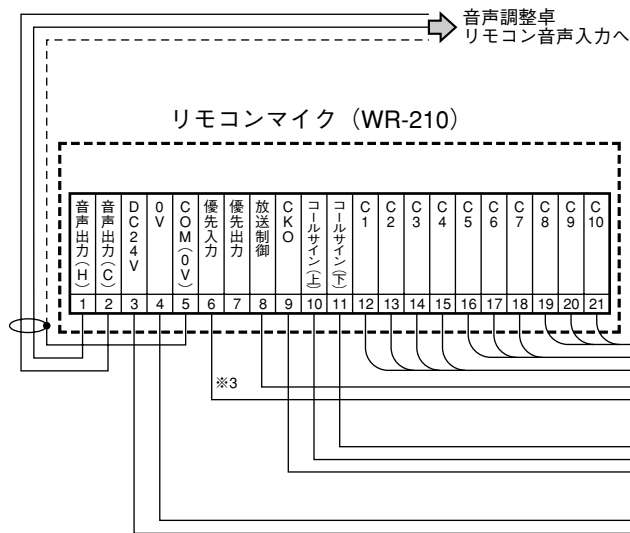
音声調整卓 WL-SA133とリモコンマイク WR-210のシステム例です。

- 各チャンネル毎に本機が1台必要です。
- 音声調整卓に付属の端子台ユニットが必要です。
- 本機、リモコン接続端子の放送制御とリモコン端子間に※2ダイオードを接続してください（逆流防止用）。
ダイオード YWAM01Z（サービス部品扱い）
- *の接続は、1CH~3CHのいずれかのリレーユニットに接続します。

※1 リモコンマイクの放送制御とリレーユニットの電源制御との配線は、音声調整卓の電源が「切」または停電時（別途、音声調整卓側に非常電源ユニットWP-570Bが必要）に、リモコンマイクから調整卓の電源を入れ、放送できるようにするために接続します。

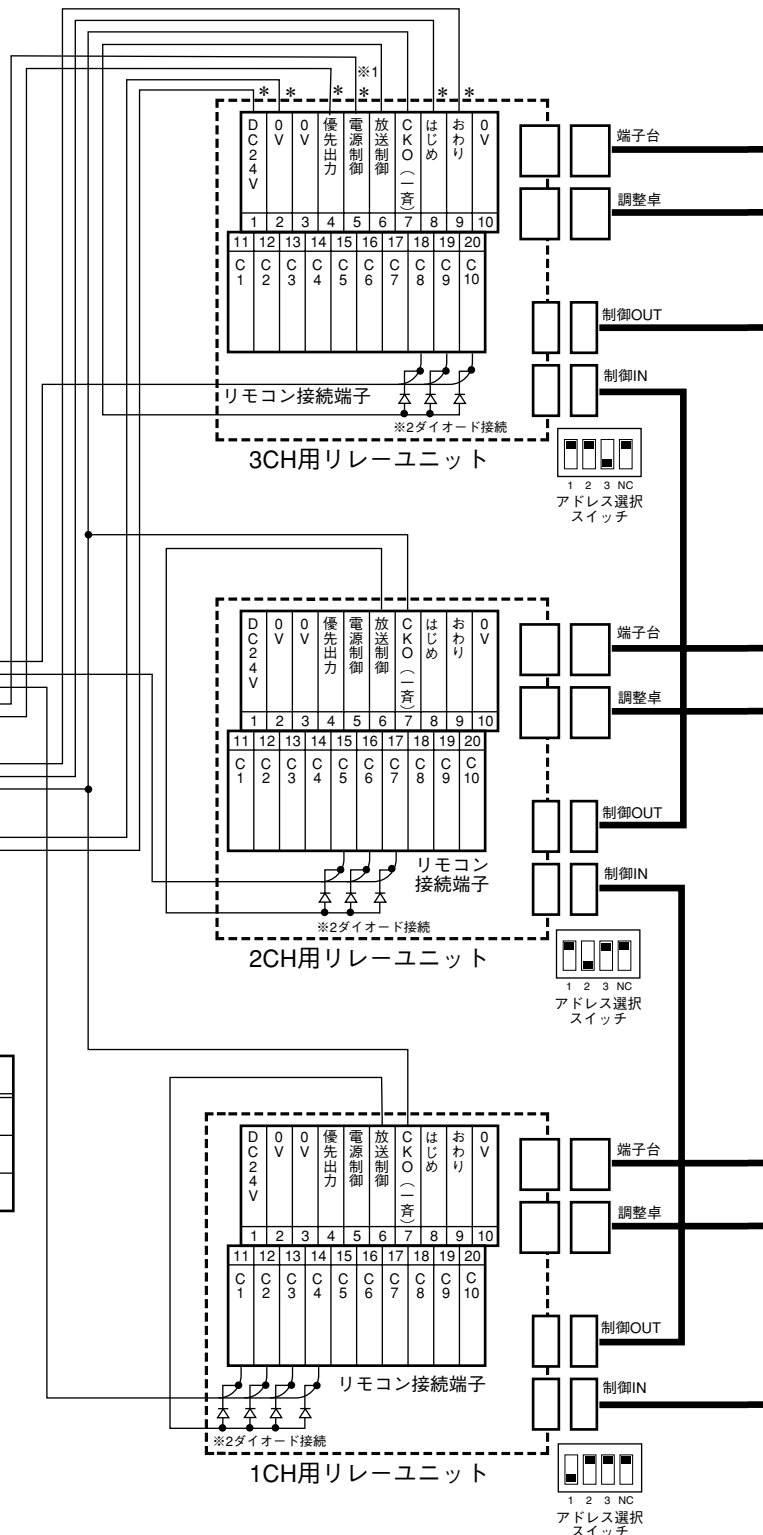
※2 チャンネルごとの放送制御はダイオードを接続して行います。

※3 優先入力の配線は、緊急放送時にリモコン放送を停止させるために必要です。必ず接続してください。

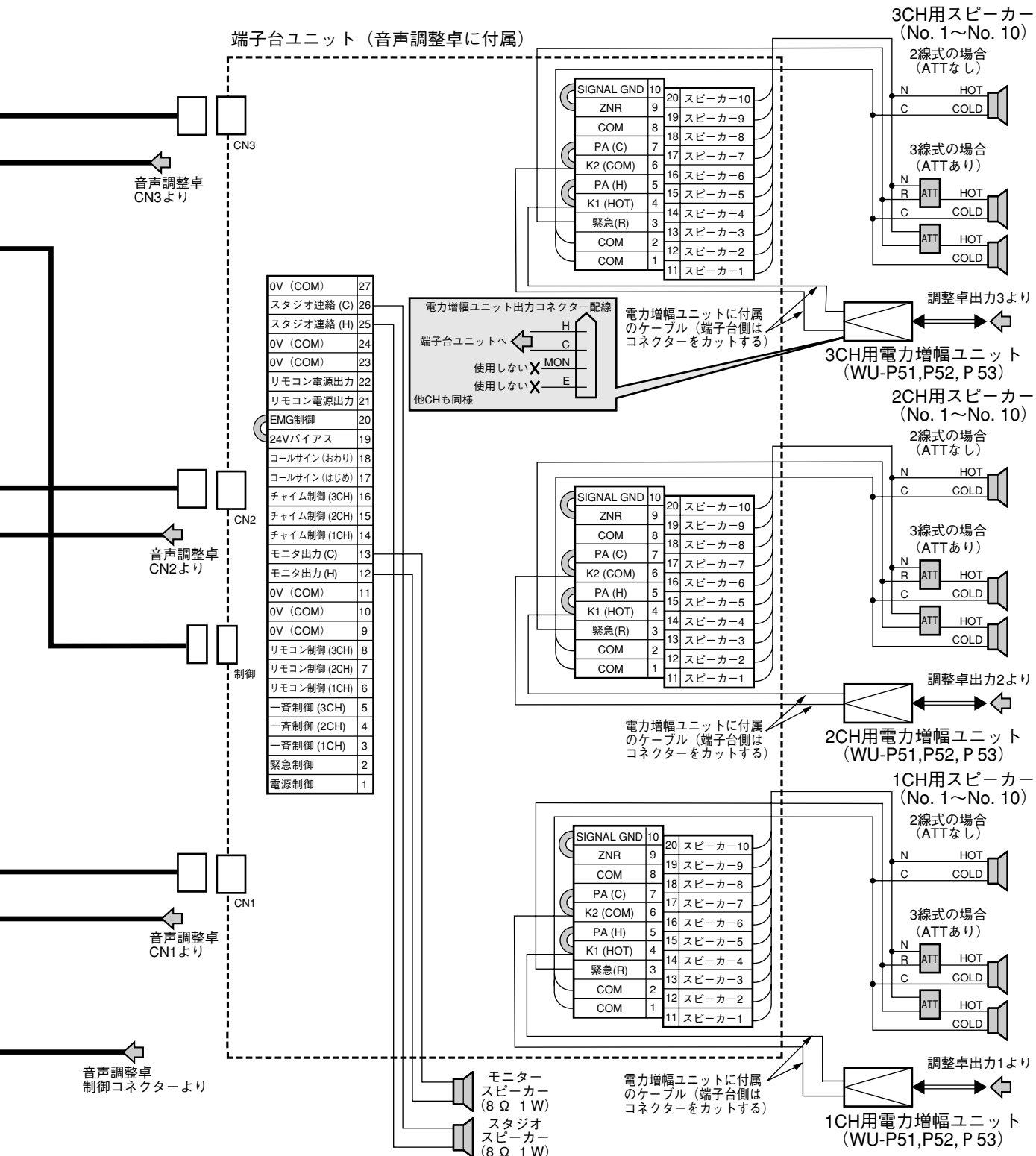


・上図では、全30局ともスピーカーを接続していますが、リモコンマイクからの放送は以下のようにしています。

リモコンのブロック選択番号	本体のCH	スピーカー番号
ブロック番号 1~4	1CH	1~4
ブロック番号 5~7	2CH	5~7
ブロック番号 8~10	3CH	8~10



接続



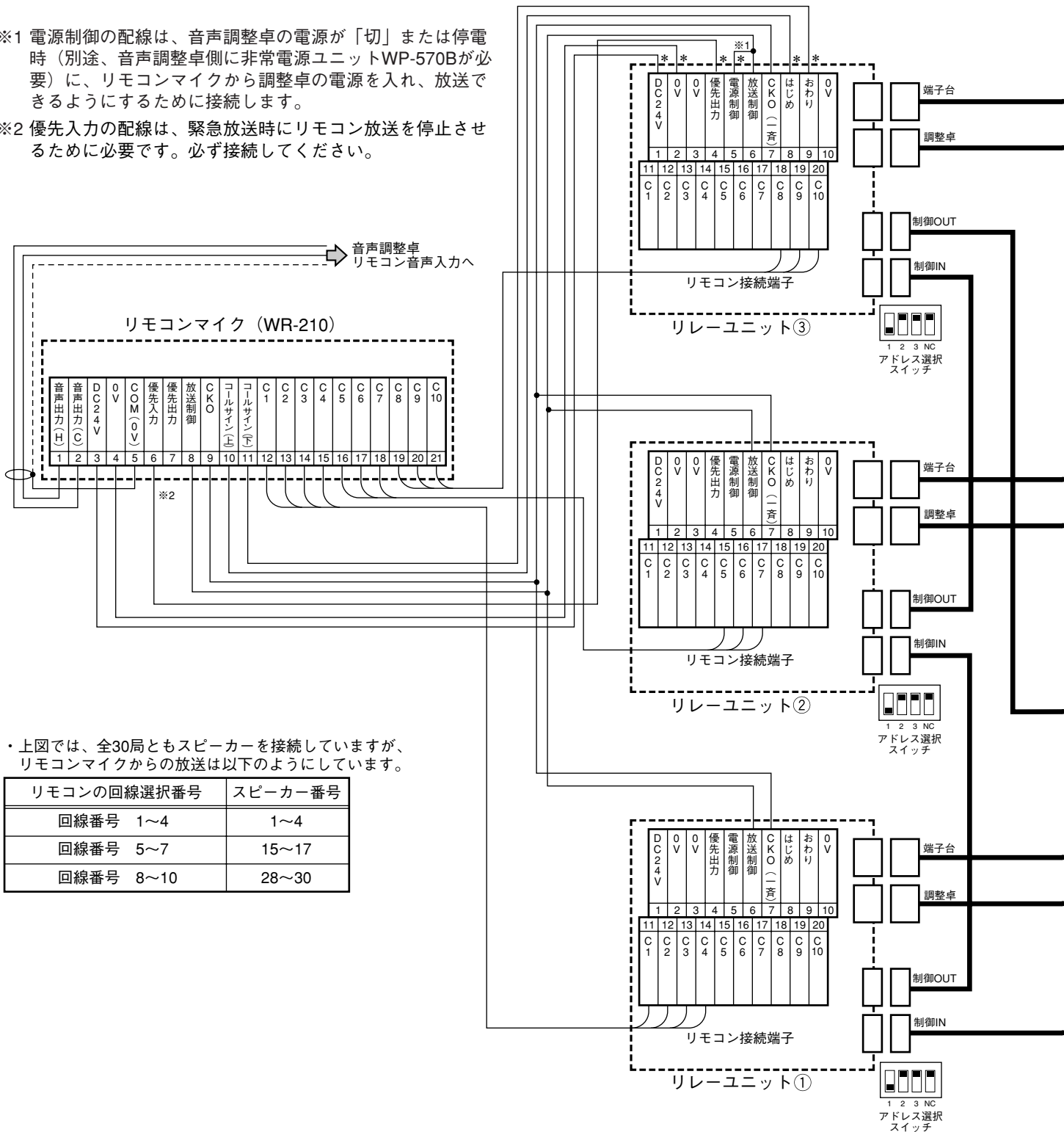
リモコンマイク1台で各回線に放送する場合

音声調整卓 WL-SA113とリモコンマイク WR-210のシステム例です。

- 各局毎に本機が1台必要です。※アドレス設定スイッチは、全て1台目にしてください。
- 音声調整卓に付属の端子台ユニットが必要です。
- *の接続は、①～③のいずれかのリレーユニットに接続します。

※1 電源制御の配線は、音声調整卓の電源が「切」または停電時（別途、音声調整卓側に非常電源ユニットWP-570Bが必要）に、リモコンマイクから調整卓の電源を入れ、放送できるようにするために接続します。

※2 優先入力の配線は、緊急放送時にリモコン放送を停止させるために必要です。必ず接続してください。



・上図では、全30局ともスピーカーを接続していますが、リモコンマイクからの放送は以下のようにしています。

リモコンの回線選択番号	スピーカー番号
回線番号 1～4	1～4
回線番号 5～7	15～17
回線番号 8～10	28～30

接続

仕様

基本仕様

電源	AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	約12 W
寸法	幅 480 mm 高さ 44 mm 奥行 200 mm (端子台などの突起部含まず)
質量	約3.1 kg
仕上げ	パネル：AVアイボリー塗装鋼板 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

リモコン接続部 (ねじ式端子台)

リモコン電源出力	DC 24 V 135 mA (音声調整卓より供給)、リモコンマイク3台まで供給
優先入力	開放電圧 5 V、短絡電流 3 mA、1回路
優先出力	NPNオープンコレクタ出力、35 V以下、10 mA以下
コールサイン起動	開放電圧 5 V、短絡電流 3 mA、上り/下り各1回路
回線制御	開放電圧 5 V、短絡電流 3 mA、10回路
一斉制御	開放電圧 5 V、短絡電流 3 mA、1回路

リレー制御入力部

回線数	10局+一斉
-----	--------

スピーカー出力部

回線数	10局+一斉
制御容量	1局あたり最大360 W、10局合計最大1 080 W

保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このリレーユニットの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

まず電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

製品名	リレーユニット
品番	WU-SA105
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

その他

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル

パナハ ヨイワ



0120-878-410

受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承ください。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WU-SA105
	販売店名	電話（ ） -				

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

3TR001557HAA
NF0103-7047